弁慶となりて挑戦を天倒する事を比較し見かぬに十九ヶ
夜校教士（川井愛撒太二郎先生）、辯天座に於て座談写
と聞信し之いおし今日係合係合例の婦実者を招待し
甚深暑さ力をいれてたくさ伏せ再び起つ能はさる迄の打弾
と甚く一事を計画した。
一方挑向上する側では此数回と早くも率けする辯太郎
舎を聞信して鎗じ応錬する事とし挑向、健二、出二挑
今晩の聞士と會部長活躍すべき事になり肉部車数十名と
戦いして少年尺隼を行い午後十時迄に集合し定めて解
れ更集合する。係同盟側は前後して約百四十名は残留
最初で疲れて筆も書し早くも寝る者と共に寝付した。午後
七時紀念係合側百五十名は壮丁んは燻設会場に殺到